

2022年3月期上期 決算説明資料

共英製鋼株式会社

(東証一部：5440)

2021.11.8

本日の内容

1

2022年3月期 上期決算報告

2

2022年3月期 通期業績予想

3

中期経営計画 進捗状況

1

2022年3月期 上期決算報告

2

2022年3月期 通期業績予想

3

中期経営計画 進捗状況

前年同期対比で増収ながら減益決算となった

期間：2021年4月1日～9月30日

(億円)	2021年3月期		2022年3月期			2022年3月期 上期 予想	増 減	
	上期	下期	1Q	2Q	上期 実績		前年同期	計画
売上高	1,057	1,207	649	773	1,422	1,400	+365 (+34.5%)	+22 (+1.6%)
営業利益	78	48	22	34	56	50	▲ 22 (▲28.6%)	+6 (+12.0%)
経常利益	80	50	26	41	66	50	▲ 13 (▲16.5%)	+16 (+32.9%)
当期純利益	58	30	13	21	34	25	▲ 24 (▲41.1%)	+9 (+35.5%)

※2021年度3月期上期、下期の営業利益、経常利益、当期純利益については
アルタ・スチール社買収にかかるPPAの確定を反映

セグメント別業績概要

KYOEI STEEL

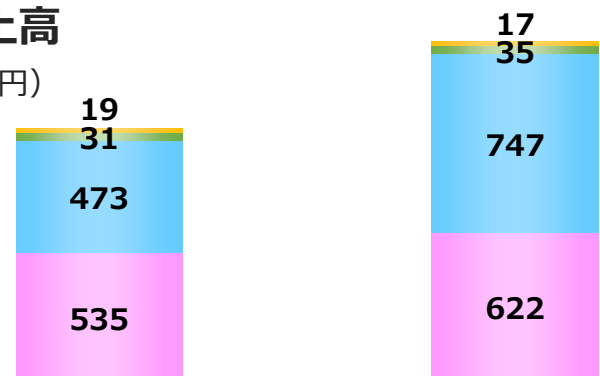
(億円)

		2021年3月期			2022年3月期			前年同期比
		1 Q	2 Q	上 期	1 Q	2 Q	上 期	
国内鉄鋼事業	売上高	268	268	535	305	317	622	(+16.3%)
	営業利益	47	36	83	9	5	14	(▲83.3%)
海外鉄鋼事業	売上高	204	268	473	317	431	747	(+58.1%)
	営業利益	▲ 5	2	▲ 4	11	27	38	-
環境リサイクル事業	売上高	15	16	31	17	18	35	(+15.7%)
	営業利益	2	2	4	4	5	9	(+120.0%)
その他	売上高	10	9	19	10	7	17	(▲10.0%)
	営業利益	▲ 0	0	▲ 0	0	0	0	-
計	売上高	497	560	1,057	649	773	1,422	(+34.5%)
	営業利益	41	37	78	22	34	56	(▲28.6%)

国内鉄鋼事業 海外鉄鋼事業 環境リサイクル事業 その他の事業

売上高

(億円)

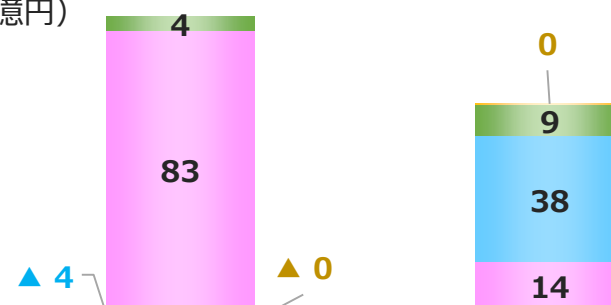


2021年3月期
上期

2022年3月期
上期

営業利益

(億円)

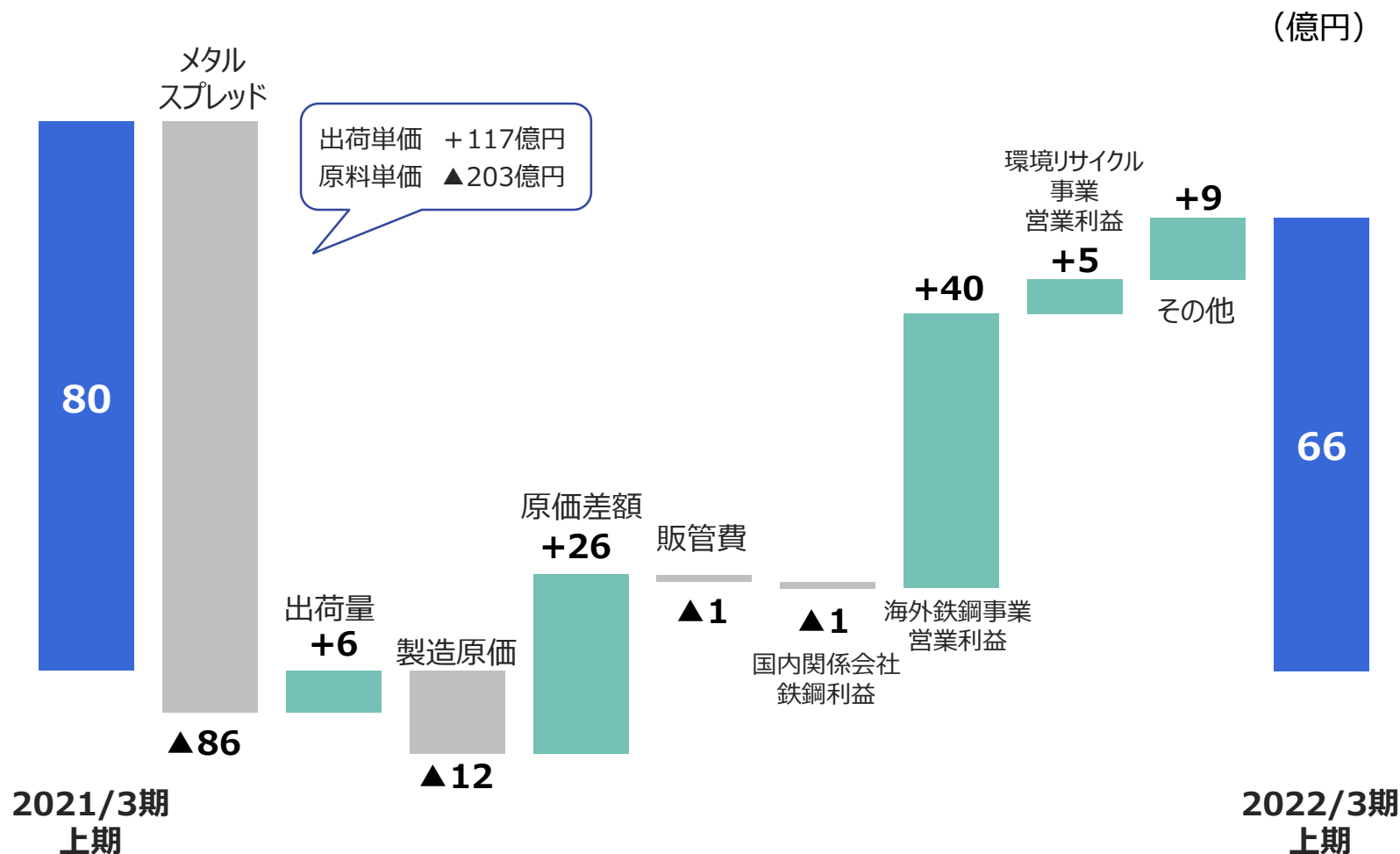


2021年3月期
上期

2022年3月期
上期

経常利益の変動要因（前年同期対比）

上期の経常利益が 前年同期対比14億円減少した要因



セグメント別業績の概況（1）

国内鉄鋼事業

売上高： 622億円

営業利益： 14億円

前年同期対比 増収・減益

- 出荷量は前年同期対比2.7万トン（3.5%）増の80.2万トン。生産量・出荷量ともに前期上期実績を上回る
- スクラップ価格の急騰に製品価格の値上げが追い付かず、前年同期・前年度下期対比スプレッド縮小

海外鉄鋼事業

売上高： 747億円

営業利益： 38億円

前年同期対比 増収・増益

- **ベトナム**
前年下期以降の原料価格の高騰を背景に、販売価格の引き上げが浸透、売買差が改善するなど3拠点で黒字達成
- **北米**
一過性の減益要因があるも、経済活動の再開に伴い鉄鋼需要は大きく回復、両拠点で黒字化

セグメント別業績の概況（2）

環境リサイクル事業

売上高： 35億円
営業利益： 9億円
 前年同期対比 増収・増益

- コロナ禍により一時停滞していた廃棄物排出元の工場稼働率が復調
- 新型コロナウイルス関連の医療廃棄物処理案件の増加

その他事業（鉄鋼周辺事業）

売上高： 17億円
営業損失： 0億円
 前年同期対比 減収・増益

- ベトナム港湾事業・鋳物事業の業績は堅調に推移
- 国内鋳物事業はコロナ禍の影響を受け、依然として不調

1

2022年3月期 上期決算報告

2

2022年3月期 通期業績予想

3

中期経営計画 進捗状況

通期について、売上高・営業利益を下方修正、経常利益・当期純利益は据置

前回公表値（2021年7月30日）

	2022年3月期		
	上期	下期	通期
売上高	1,400	1,600	3,000
営業利益	50	50	100
経常利益	50	50	100
当期純利益	25	35	60

	中間	期末	通期
1株当たり 配当金	15	25	40

今回修正値（2021年10月29日）

(億円)

2022年3月期			
上期	下期 (予)	通期 (予)	差異 (対前回予想)
1,422	1,478	2,900	(▲3.3%)
56	24	80	(▲20.0%)
66	34	100	(+0.0%)
34	26	60	(+0.0%)

(円)

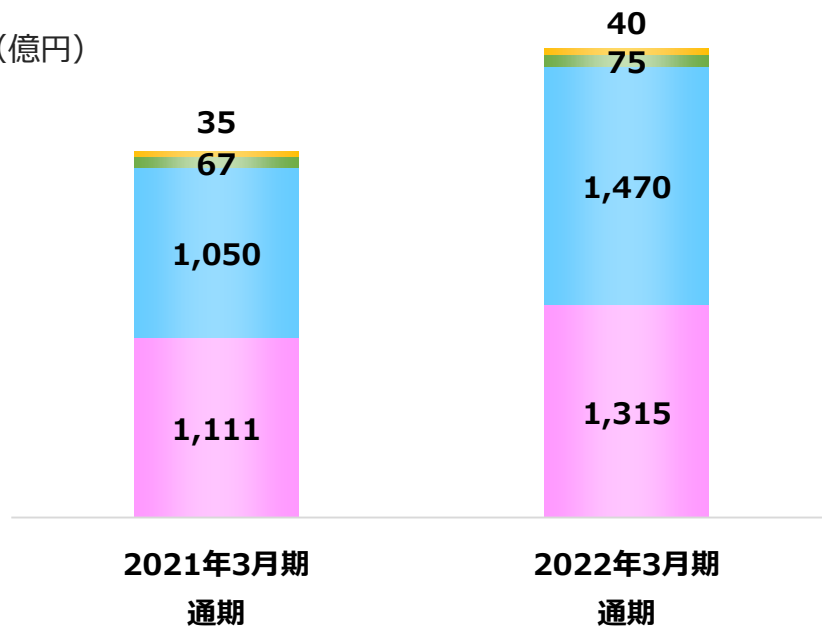
中間	期末	通期	配当性向
15	25	40	29.0%

セグメント別通期業績予想

国内鉄鋼事業 海外鉄鋼事業 環境リサイクル事業 その他の事業

売上高

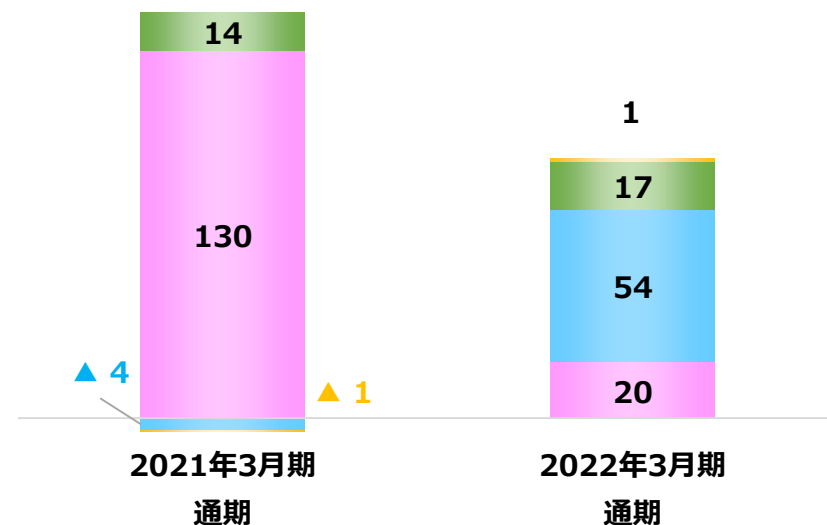
(億円)



営業利益

※営業利益合計との差異は、消去または全社費用分

(億円)

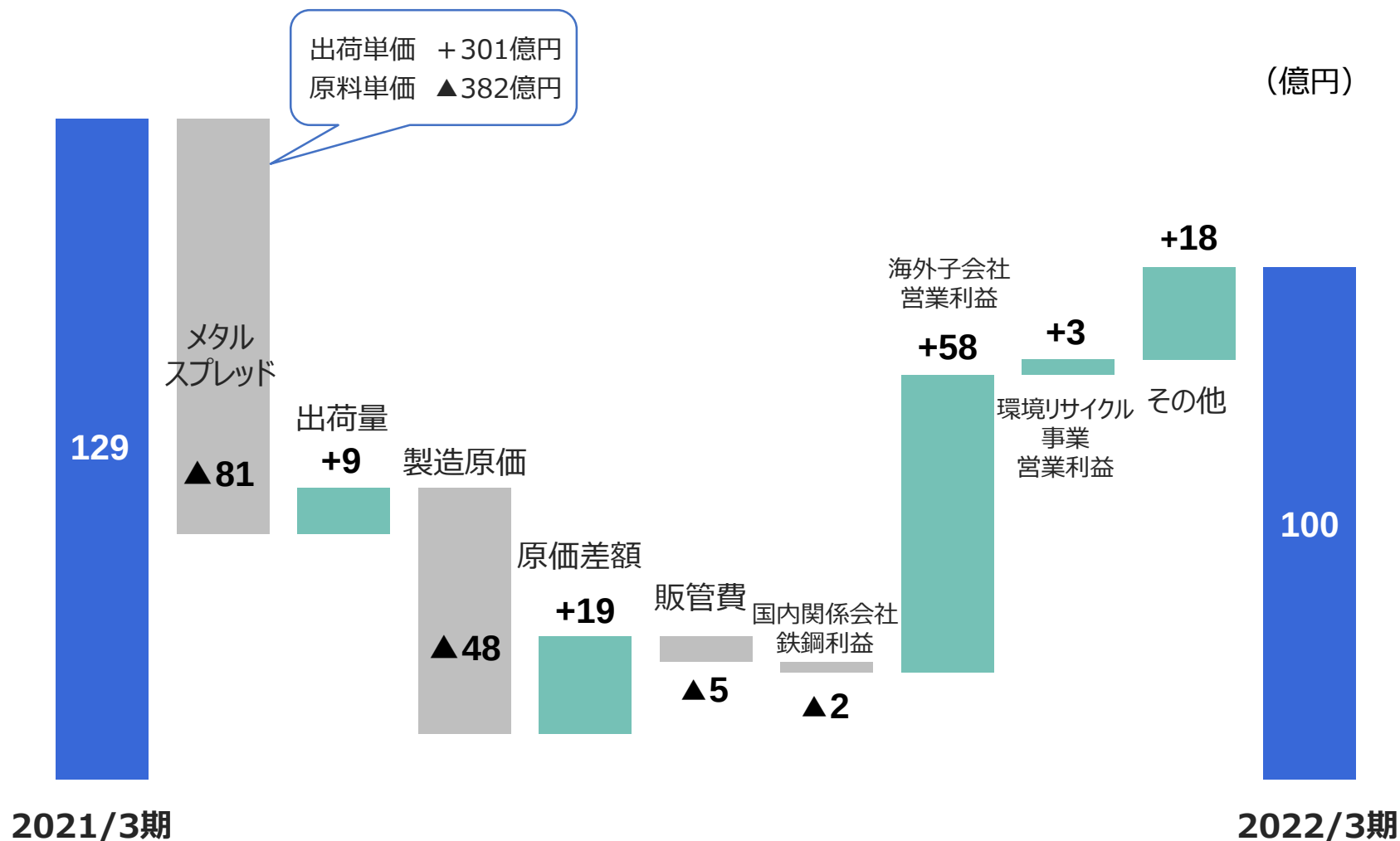


(億円)	2021年3月期			2022年3月期		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
国内鉄鋼事業	535	576	1,111	622	693	1,315
海外鉄鋼事業	473	577	1,050	747	723	1,470
環境リサイクル事業	31	36	67	35	40	75
その他事業	19	17	35	17	23	40
合計	1,057	1,207	2,264	1,422	1,478	2,900

	2021年3月期			2022年3月期		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
国内鉄鋼事業	83	47	130	14	6	20
海外鉄鋼事業	▲ 4	▲ 1	▲ 4	38	16	54
環境リサイクル事業	4	9	14	9	8	17
その他事業	▲ 0	▲ 1	▲ 1	0	1	1
合計	78	48	127	56	24	80

経常利益の変動要因：通期予想 VS 前期実績

22/3期の経常利益が前期対比29億円減少する要因



セグメント別通期業績予想（1）

国内鉄鋼事業

売上高：1,315億円
営業利益：20億円
 前期対比 増収・減益予想

- 出荷量は前年実績同期対比6.4万トン増の163.6トン
- スクラップ価格の上昇分を製品出荷単価に転嫁しきれず、メタルスプレッドは前期を下回る

海外鉄鋼事業

売上高：1,470億円
営業利益：54億円
 前期対比 増収・増益予想

- **ベトナム**
7月中旬以降、コロナ感染拡大により2か月にも渡る厳しい隔離措置が実施され、マーケット環境が激変
- **北米**
上期から続く堅調な需要環境の中、出荷・生産も順調
売買差の拡大で業績は好調

セグメント別通期業績予想（2）

環境リサイクル事業

売上高： 75億円
営業利益： 17億円
 前期対比 増収・増益予想

- 下期以降も大型案件の獲得などにより収益増加を目指す

その他事業（鉄鋼周辺事業）

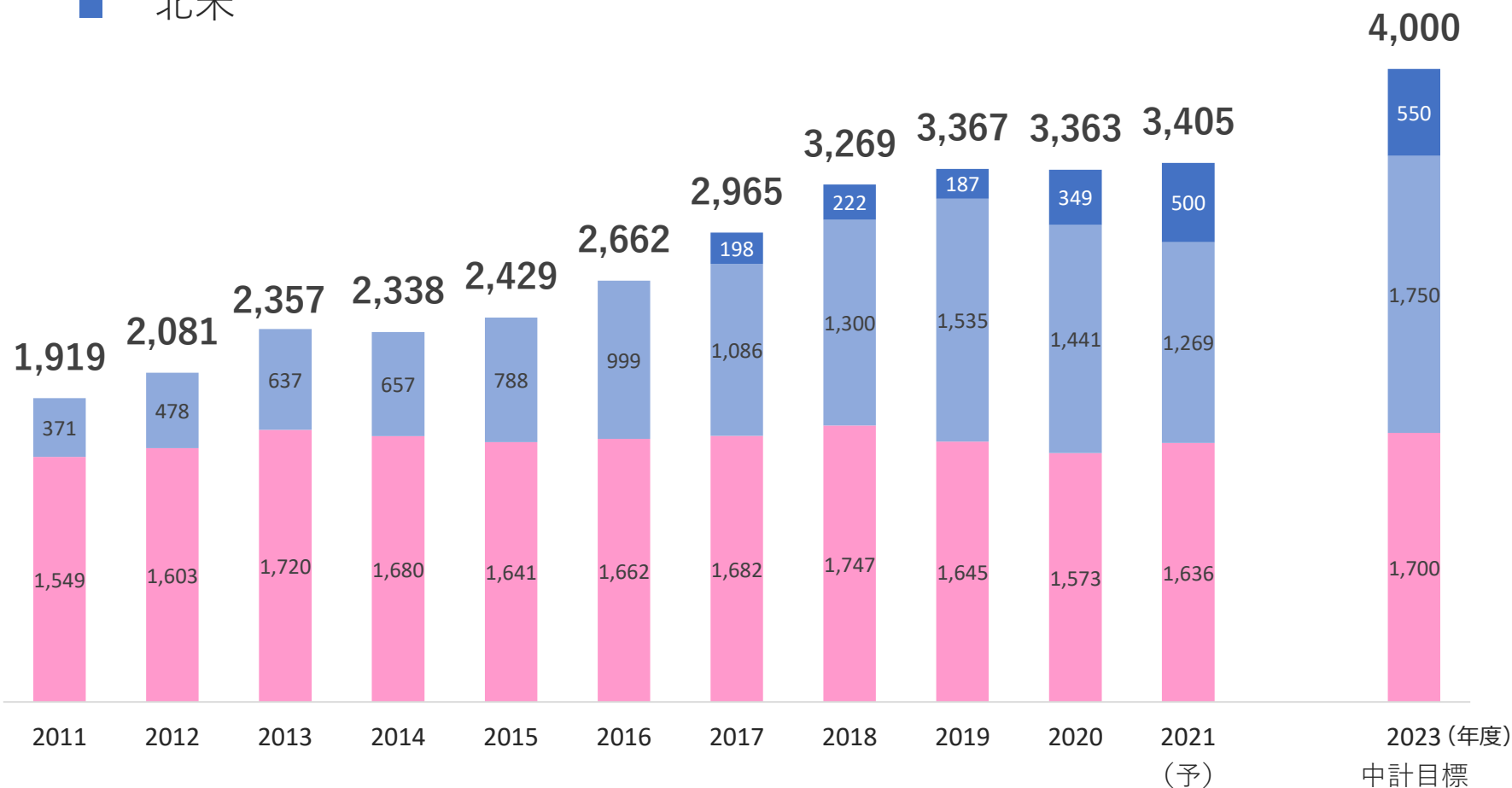
売上高： 40億円
営業利益： 1億円
 前期対比 増収・増益予想

- 国内鋳物事業：製造業の回復による需要増を見込み、既存先への深耕と新規先の開拓による販売増を目指す
- ベトナム港湾事業・鋳物事業：コロナ禍の中でも収益基盤確保、経済活動再開に合わせ安定成長を目指す

製品出荷量推移：国内・海外

- 国内（共英+関東S）
- ベトナム
- 北米

(千ト)



1

2022年3月期 上期決算報告

2

2022年3月期 通期業績予想

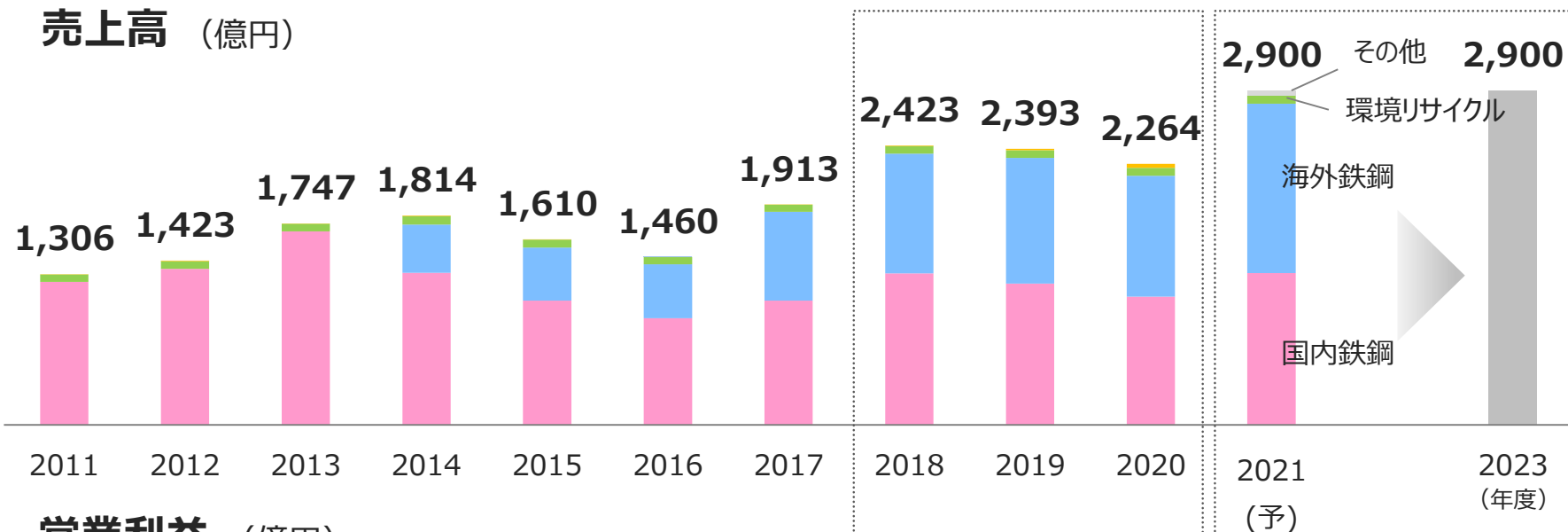
3

中期経営計画 進捗状況

売上高・営業利益の推移

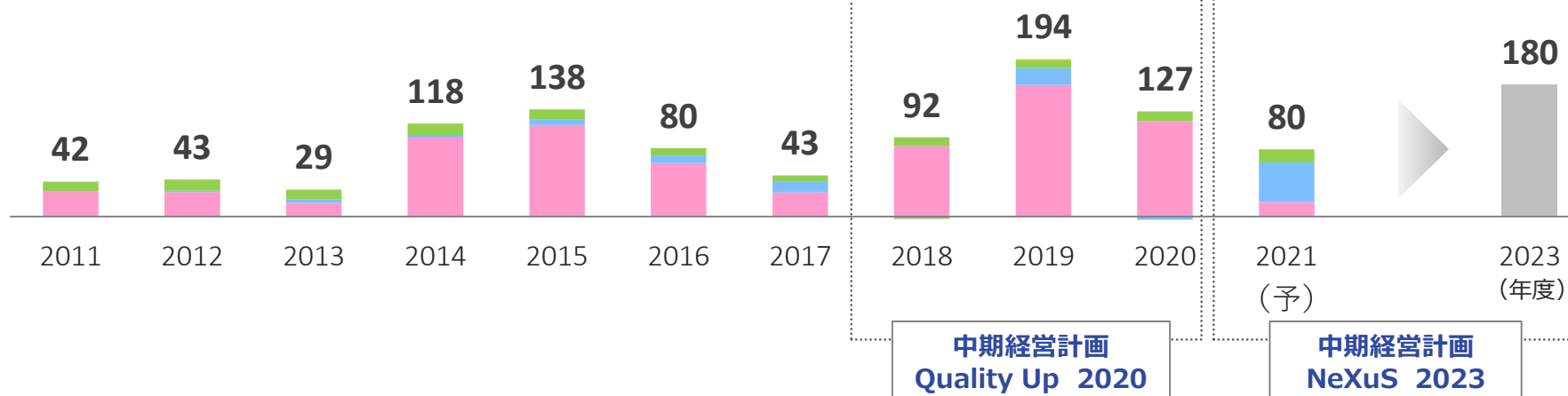
ボラティリティが高く、収益に変動はありながらも売上は右肩上がりに推移

売上高 (億円)



営業利益 (億円)

※消去除く



中期経営計画
Quality Up 2020

中期経営計画
NeXuS 2023

2023年度 (最終年度) 達成目標

売上高：2,900億円 / 経常利益：180億円
出荷量：400万トン（国内：170万トン、海外：230万トン）
ROS：6%以上（売上高経常利益率） / ROE：7%以上
自己資本比率：50%以上 / ネットDEレシオ：0.25以下
配当性向：30%程度 / 3年間の総投資額：600億円

具体的施策

事業の成長に向けた取り組み

- ① 海外鉄鋼事業：収益力強化/成長拡大の準備
- ② 国内鉄鋼事業：競争力強化・将来を見据えた設備更新
- ③ 環境リサイクル事業・鉄鋼周辺事業：収益機会の拡大

ESGの取り組み・成長を支える基盤強化

- ④ カーボンニュートラル・資源循環型社会の実現に向けた取り組み
- ⑤ すべてのステークホルダーに貢献
- ⑥ 経営基盤の強化



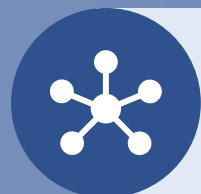
本業を強くする

鉄筋を中心とした
建設用鋼材事業を強化する



**地産地消ビジネスで
リスクを分散する**

日本だけでなく、世界で
資源循環型事業を展開する



ウィングを拡げる

環境リサイクル事業や鋳物事業に加え、
加工品事業も強化し、事業領域の幅を拡げる



地球環境と調和する

本業を通じて、サステナブルな社会の実現に
貢献できる「真の資源循環型企业」に進化する



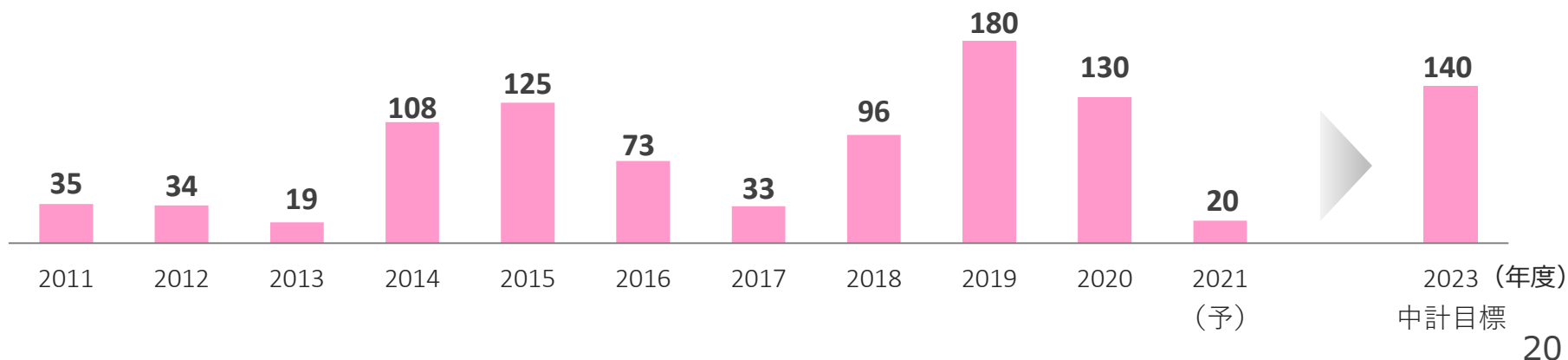
本業を強くする

鉄筋を中心とした
建設用鋼材事業を強化する

基盤となる国内鉄鋼事業の競争力を強化

- コスト削減
- 販売力・購買力の向上
- 品質の向上と付加価値品の開発・拡販

国内鉄鋼事業 セグメント利益 (億円)



● コスト削減

- 炉前作業・化学成分分析作業の自動化
- 画像処理技術を利用した検査装置
- 自動システム搭載倉庫新設による物流コスト削減
- スクラップ、電極、副資材などの価格上昇に対応したエネルギー原単位削減の取り組み



分析自動化設備（関東）



自動システム搭載倉庫（枚方）

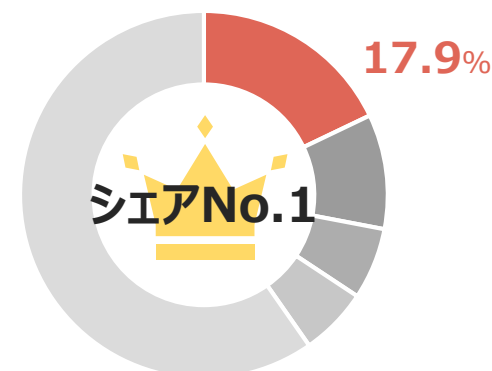
● 販売力・購買力の向上

- 営業業務改革プロジェクトによる効率化
(2022年10月 ウェブ受注システム運用開始)

● 品質向上と付加価値品の開発・拡販

- 高強度鉄筋
- 環境配慮型のカラーアングル
- JK大会、製造技術開発連絡会、各種研修、勉強会の充実

国内小型棒鋼シェア（生産量）



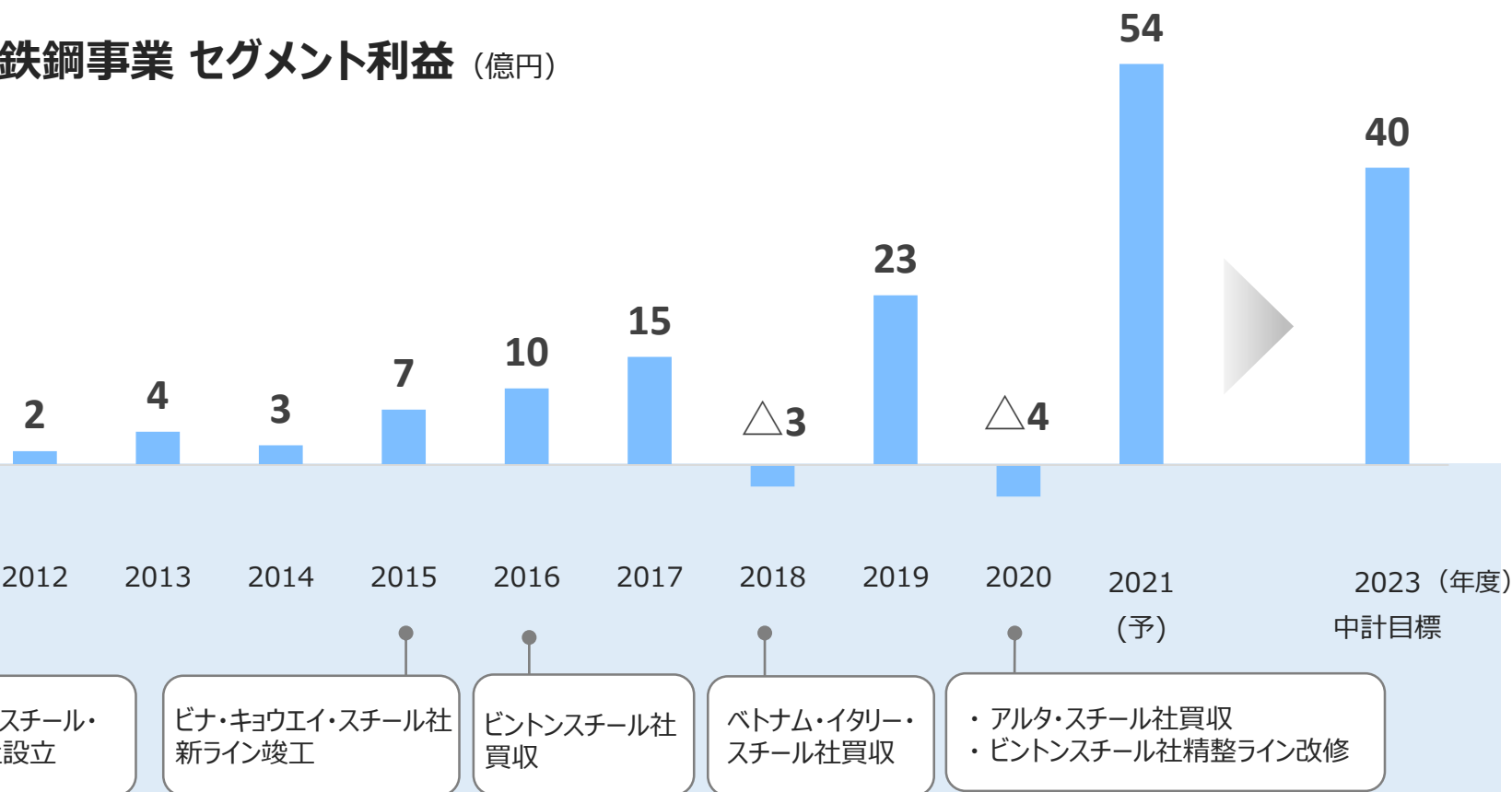
出典：日本鉄鋼連盟資料（2019年度）



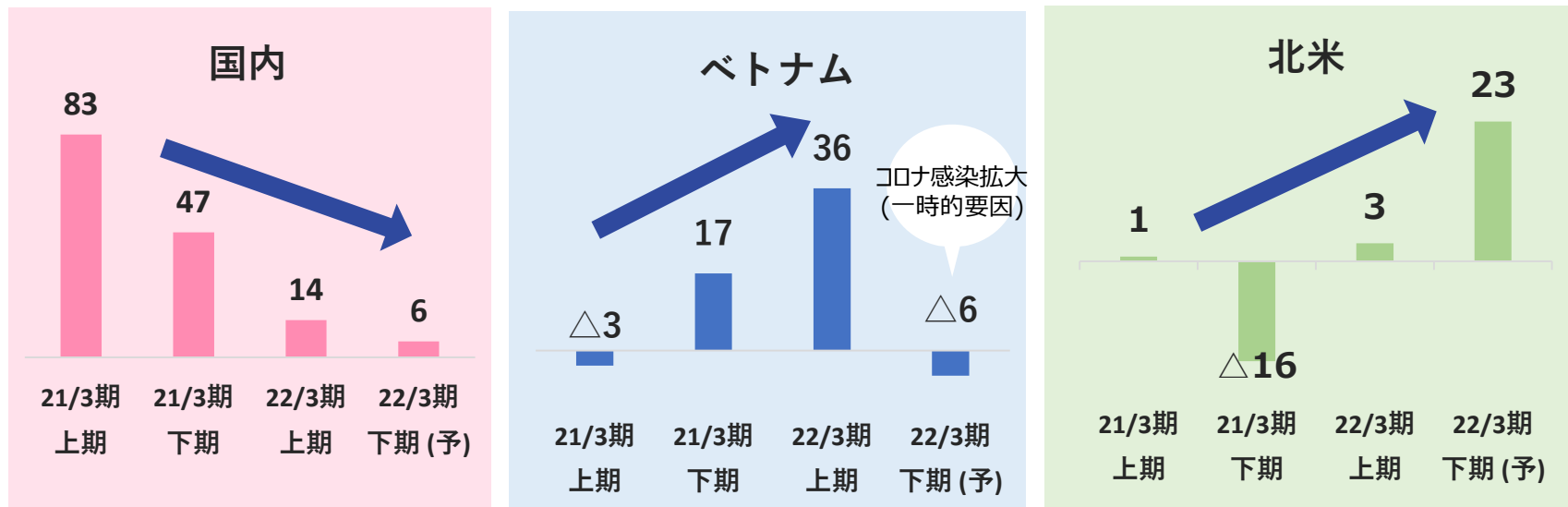
地産地消ビジネスで
リスクを分散する

日本だけでなく、世界で
資源循環型事業を展開する

海外鉄鋼事業 セグメント利益 (億円)



長年の海外への積極投資が、ようやく開花 国内鉄鋼事業の厳しい状況をカバー



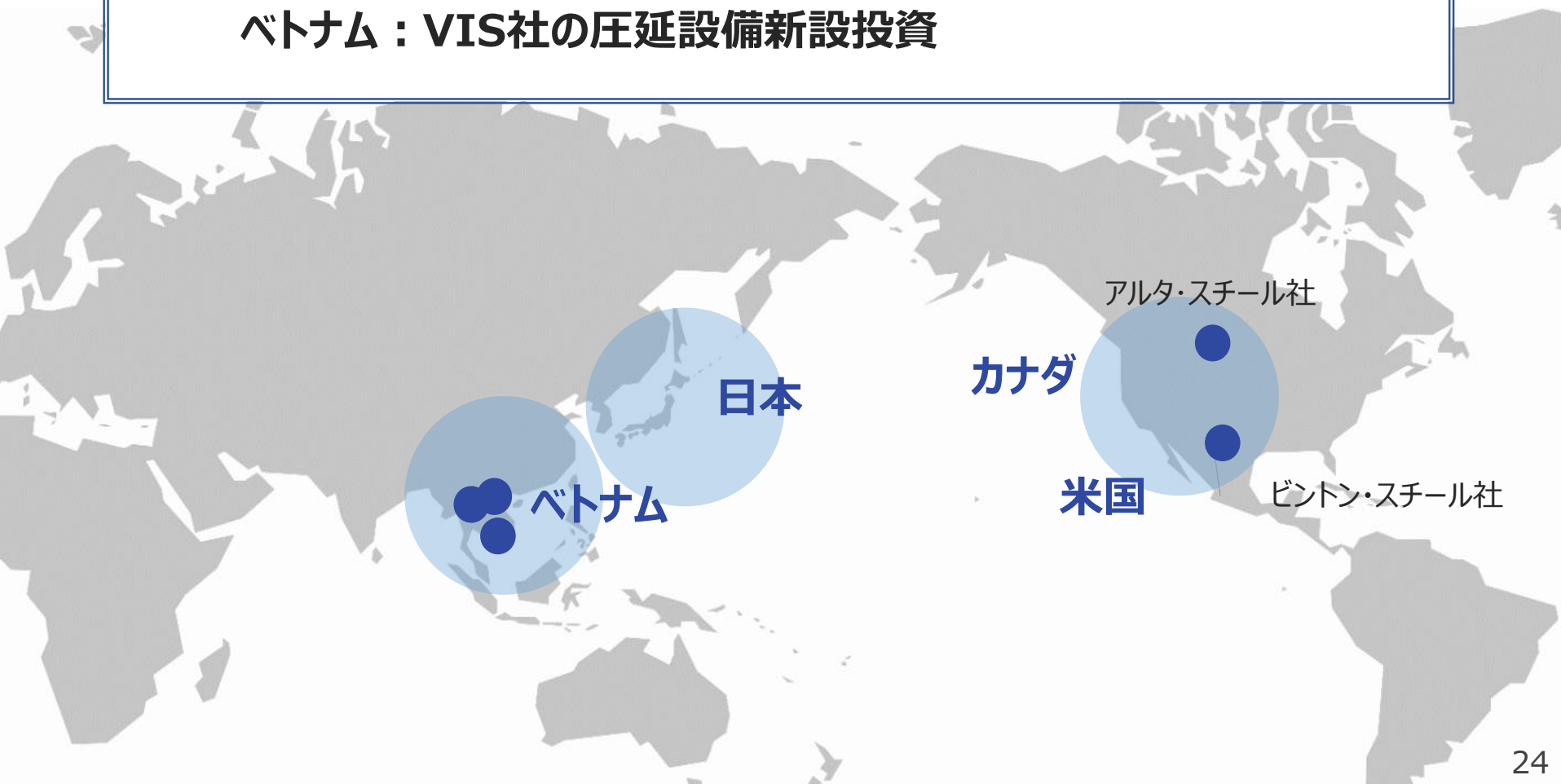
世界3極体制（日本・ベトナム・北米）の
盤石化を目指す

海外230万トン（世界3極で400万トン）体制を指向

検討中のプロジェクト

北 米：アルタ・スチール社の圧延設備拡張投資

ベトナム：VIS社の圧延設備新設投資





ウィングを広げる

環境リサイクル事業や鋳物事業に加え、
加工品事業も強化し、事業領域の幅を広げる

環境リサイクル事業

- 営業力強化により、2017年度を底にセグメント利益は増加傾向
- 新型コロナウイルス感染拡大に伴う医療廃棄物処理量の増加
- 電炉溶融処理の特性を活かした難処理大型案件（アスベスト等）の増加

環境リサイクル事業 セグメント利益（百万円）



その他（鉄鋼周辺）事業

- 高強度せん断補強筋（685フープ筋）の
拡販体制強化
- TVP（港湾事業）の業績はコロナ禍でも順調
- 鋳物事業は値上げ効果に期待

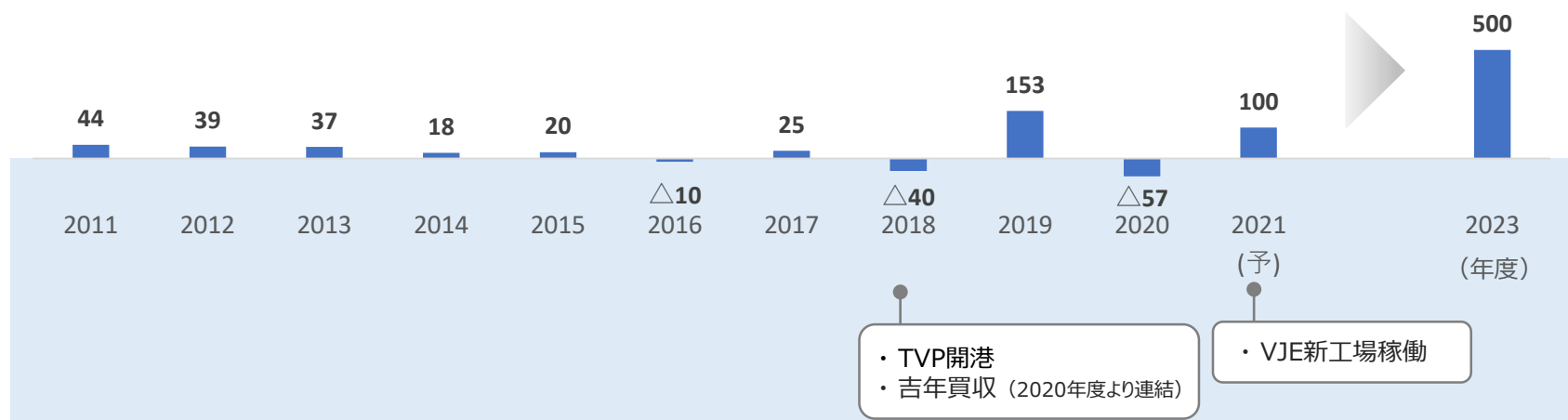


高強度せん断補強筋



一部設備を一新した
共英加工販売(株)の工場

その他（鉄鋼周辺）事業 セグメント利益 （百万円）





地球環境と調和する

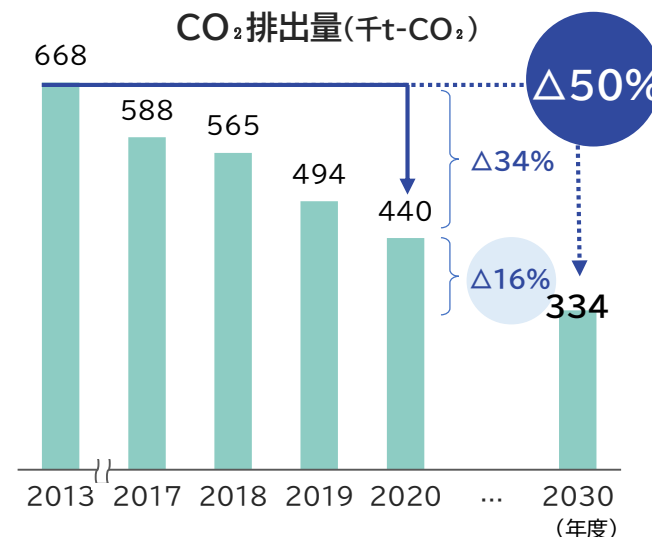
本業を通じて、サステナブルな社会の実現に
貢献できる「真の資源循環型企业」に進化する

● CO₂排出量削減の取り組み

- ・枚方・山口事業所にて太陽光パネル設置予定
- ・TCFD提言への賛同表明（2021年4月）
⇒ 開示に向け取り組み継続中
- ・オリーブ植樹 第2回実施

● ゼロエミッションの取り組み

- ・鉄鋼副産物（スラグ）の再資源化
⇒ ほぼ全量をゼロエミッション化
- ・ダストのゼロエミッション化実現に向けて



生産工程で発生するスラグをグループ内で処理し路盤材に加工



スラグ



路盤材

環境

E

- ・CO₂排出量削減の取り組み
- ・ゼロエミッションの取り組み

社会

S

- ・サプライチェーンの強化： パートナーシップ構築宣言
- ・健康経営： 健康宣言制定
ハタラクエール（福利厚生推進法人認証）取得
- ・寄付活動： 地域貢献ファンドに加え、医療従事者への追加支援
- ・障がい者雇用： 「リサイクル工房にじいろ」（小型家電リサイクル）
- ・人材力強化その他： 新人事制度の導入
シニア層の活用
多様な人材活用（キャリア採用、女性の活躍推進）

企業統治

G

- ・取締役会のダイバーシティ（女性社外取締役 1 名招聘）
- ・役員のスキルマトリックス開示
- ・東証プライム市場上場に向けた準備

NeXuS

▶▶▶ Next Success

次代の成功を目指して

これまでの「鉄づくりを通じて社会に貢献する」企業から、

これからの「サーキュラー・エコノミー社会」の中で

資源循環型事業を通じ、社会の発展と地球環境との調和に貢献する

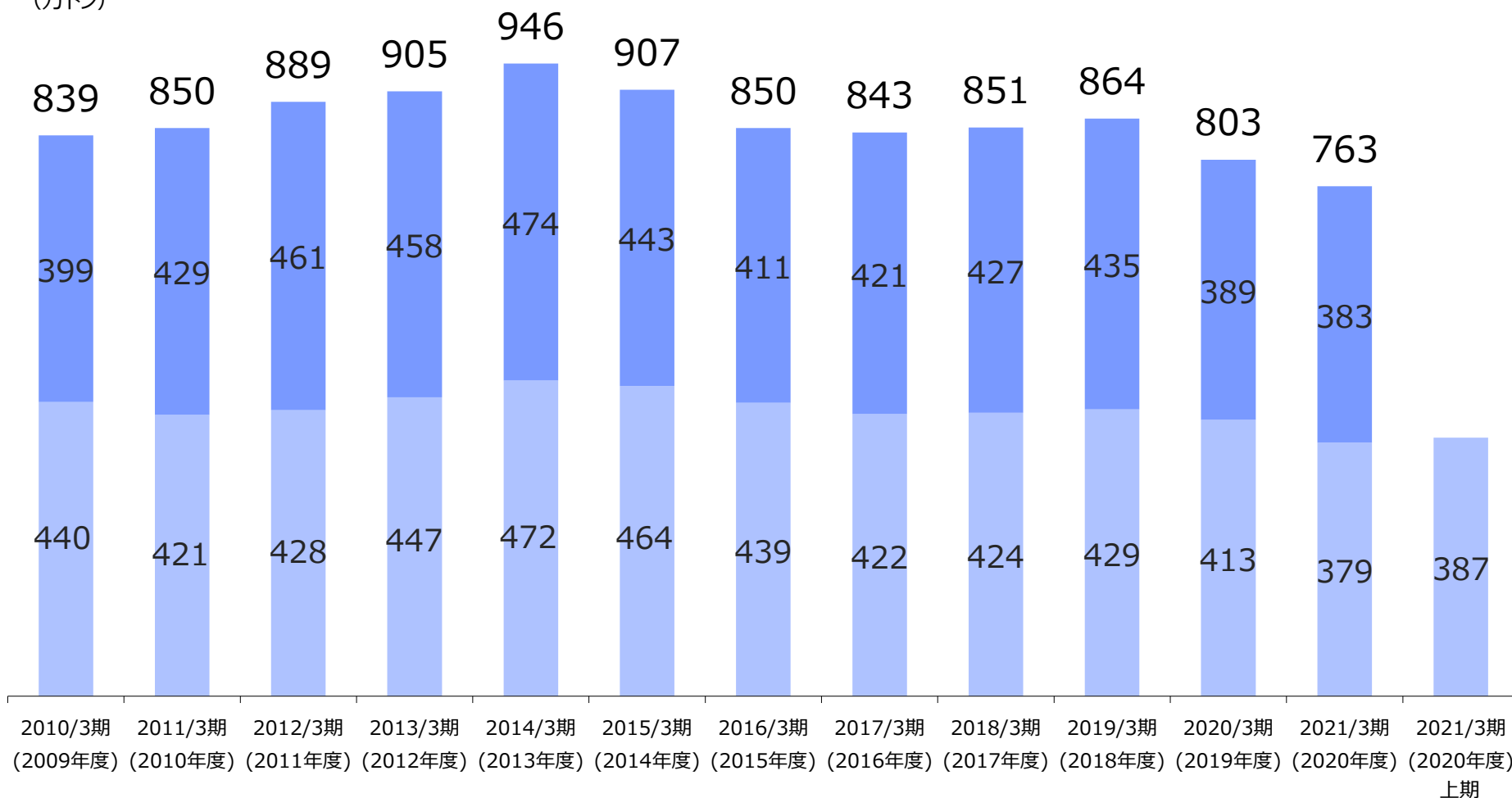
“エッセンシャル・カンパニー”を目指します

免責事項

- 本資料は、当社の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘する目的で作成されたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の責任・判断のもとになされますようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている情報には、当社に関する将来予測や業績予想が記述されていますが、これらは潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。業績結果が経営環境の変化などによって、見通しと異なったものになる可能性があることをご承知おきください。
- 本資料に掲載されている情報の掲載中止や変更を予告なく行うことがありますので、ご承知おきください。
- これらの情報を利用することで生じたいかなる損失や損害に対しても、当社は一切責任を負うものではありません。

参考：小形棒鋼生産量（国内）

(万トン)



(出典) 日本鉄鋼連盟資料

参考：当社グループの国内拠点



山口事業所

異形棒鋼（全サイズ）、構造用棒鋼、
小形形鋼（平鋼、Iバー、等辺山形鋼）



枚方事業所

異形棒鋼（細物）、丸鋼



共英産業(株)

鉄筋加工、鋼材販売ほか



(株)堺リサイクルセンター
スクラップ集荷・加工



(株)吉年 鋳物製造



(株)共英メソナ
環境リサイクル事業



関東スチール(株)

異形棒鋼（細物）



名古屋事業所

異形棒鋼（全サイズ）、
ネジ節鉄筋、高張力鋼

その他の国内拠点

- ・ 共英リサイクル(株)
- ・ 共英加工販売(株)
- ・ みどり精密工業(株)
- ・ 中山鋼業（持分法適用）



参考：当社グループの海外拠点（ベトナム）



1 ベトナム・イタリー・スチール社（VIS社）

ベトナム フンエン省

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、線材）

生産能力：製鋼45万トン/年、
圧延30万トン/年



製鋼工場（ハイフォン）

2 キョウエイ・スチール・ベトナム社（KSVC社）

ベトナム ニンビン省

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、線材）

生産能力：圧延30万トン/年



3 ビナ・キョウエイ・スチール社（VKS社）

ベトナム バリア・ブントウ省

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、丸鋼、形鋼、線材）

生産能力：製鋼50万トン/年、圧延90万トン/年



4 チー・バイ・インターナショナル・ポート社（TVP社）

ベトナム バリア・ブントウ省

事業内容：港湾事業



5 ビナ・ジャパン・エンジニアリング社（VJE社）

ベトナム ハイフォン市

事業内容：鋳鉄製品製造・販売

生産能力：9,000トン/年





アルタ・スチール
(アルバータ州)

1

ビントン・スチール
(テキサス州)

2



1 アルタ・スチール（AltaSteel）社

カナダ アルバータ州

事業内容：鋼材の製造・販売、
スクラップメタルの処理・販売

生産能力：製鋼30万トン/年
圧延27万トン/年

設立年：2020年（創業は1955年）

2 ビントン・スチール（Vinton）社

米国 テキサス州

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、鉄球）

生産能力：製鋼25万トン/年、
圧延20万トン/年（棒鋼）
鍛造 5万トン/年（鉄球）

設立年：1962年